

## 発達勉強会

### 『性から考える大人になるための準備』

令和5年12月23日 実施

○2019年 国連子どもの権利委員会では、「思春期の女子および男子を対象とした性と生殖に関する教育が学校の必修カリキュラムの一部として一貫して実施されることを確保すること」と勧告されている。しかし、現在の教育現場での性に関する学習内容はそれまでと大きく変化していない。

#### 身だしなみを整える→生命・対人関係につながる

- ・手を洗う、顔を洗う、歯を磨く、お風呂に入る…
- ◎体を清潔に保つ事は、健康を維持するうえで大切な事
- ・衣服やヘアスタイルなど身だしなみを整える…
- ◎社会生活を送るうえでの基本的なマナー

『人から良く見られたい』『自分を大切にする』と言う気持ちが大事。  
その様な気持ちが無いと、心がけや自分の事を気にする事は難しい

#### 【療育の中や家庭で出来る事】

- ・イラストで客観的に気づきを促す
- ・身だしなみに関する手順表やチェック表の活用（大人から質問形式やセルフチェック）
- ・ファッションショーを活動内で行う
- ・活動で洋服を買いに行き、自分で店員さんに似合う服等を聞く 等。

#### 女の子の身だしなみについて

- ◎下着が透けない、見えないようにすること→幼い頃から教えて習慣づけ、服の選択など
- ◎ムダ毛の処理について→ルーティンを決めて習慣化したり、サービスを利用できる事を教える

#### 恋する気持ち・思春期に気をつける事

- ◎気になる、一緒に何かしたい、関わりたいのに…等の気持ちの現れについて教えていく。気持ちを分かち合い、大人は自分の経験を説明する。
- ◎ハグのマナーについて…どんな時にするのか？嫌な人や驚く人がいる事、ハグの代替案として、ハイタッチ等を教えておく。

#### 好きな人が出来た時の為に・付き合うってどういうこと？

- ◎気持ちの変化や情緒の乱れ、好きになる相手も色々だという事を伝えておく事や、メールやLINEでのやり取りについて、相手や他の人の人間関係を尊重する事の大切さを伝えていく。

### 気持ちを確かめ合う事の大切さ

◎キスや性行為に関して、いやな時は「いや」とハッキリと言葉にして伝える事や、相手が「いや」と言った時は絶対にしない事を伝える。

### 性行為について・赤ちゃんがどうしてできるのか？

◎性行為についても具体的に教えていき、相手の気持ちを大切にすること、望まない妊娠や性感染症などの危険性も合わせて伝えていくこと、好きな人同士の大切な行為であることを伝える。

### 性行為の「同意」

◎日頃から男女のからだのこと、健康のこと、いのちのことなどを具体的な話題で考え合い、子どもたち自身が性行動をコントロールする力を見につけるように支援することが大事

◎発達障害のある方で、瞬時の判断が難しい場合、たとえ騙されて行為が行われたとしても「拒否」ができず同意したことになってしまう。被害にあってもうまくコミュニケーションが取れないという理由から立件できないケースも多い。

### 性教育の基本

◎「大切にされること」を理解することや、お付き合いしない相手のルールをきめておく、ネットでの危険な出会いやデートDVなどについても伝えていく必要がある。

### <まとめ>

こどもな自分の体と心、親とのつながり確かめるために性の事をしりたがる  
親は子どもを守るために、やがては自分の力で生きていけるように性の事を教える

子ども達の性的発達の過程で出くわす局面への対処能力と豊かな共生を育むために  
共に学びあっていくことが大切